

第 38 回
日本中毒学会西日本地方会
プログラム・抄録集

日時：平成 30 年 2 月 3 日（土）13:00-17:00

会場：市立東大阪医療センター3F 会議室



世話人 塩野 茂

大阪府立中河内救命救急センター

〒578-0947 東大阪市西岩田 3-4-13

TEL 06-6785-6166 FAX 06-6785-6165

<http://www.nmcam.jp/>

第 38 回日本中毒学会西日本地方会開催にあたって

このたび第 38 回日本中毒学会西日本地方会を開催させていただくことになりました。当センターにとって大変光栄なことであり、精一杯努力する次第です。

中毒診療では、以前の硫化水素自殺や危険ドラッグの流行、最近のカフェイン中毒の増加など、日頃から関係者が情報を共有することが診療に役立つ場面が多々あります。一方、希少な症例の診療に当たらなければならない場合にも知見の交換が重要であると思います。本会が、そのような情報交換の一助になることを期待します。

特別講演は、大阪大学医学部法医学 松本博志教授に「中毒を見破る：死亡例からの提案」と題して法医学の見地から中毒患者の診断についてお話しいただきます。臨床医にとっても、役に立つお話が聞けるものと思いますので、ご期待ください。

一般演題には 12 題の演題を頂きました。毎年、熱い討論が行われる本会ですが、今回も十分な討論の時間をとるようにいたしました。活発な討論が行われ、実り大きい会になりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

なにぶん、小さな独立型救命救急センターの手作りの学会ですので、至らないこともあるかとは思いますが、私たちスタッフの熱意に免じてご容赦いただきますようお願い申し上げます。会場の市立東大阪医療センターの最寄り駅は近鉄奈良線の八戸ノ里駅になります。会終了後は、鶴橋や難波でディープな大阪を楽しんでいただければと思います。

あらためて、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

平成 30 年 1 月吉日

第 38 回日本中毒学会西日本地方会世話人 塩野 茂
大阪府立中河内救命救急センター

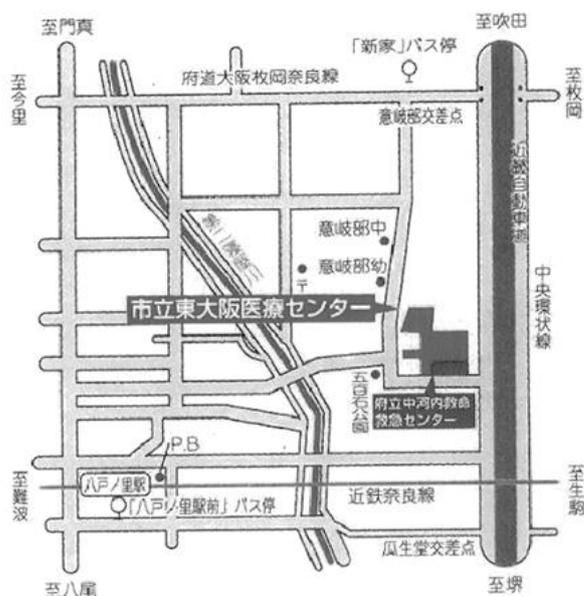
第 38 回日本中毒学会西日本地方会 日程表

日時：平成 30 年 2 月 3 日（土）13:00-17:00

会場：市立東大阪医療センター3F 会議室

- | | |
|-------------|------------------------|
| 11:50～12:50 | 幹事会 |
| 13:00～13:05 | 開会挨拶 |
| 13:05～14:05 | 特別講演 |
| 14:05～14:55 | 一般演題 A |
| 14:55～15:10 | 休憩 |
| 15:10～16:00 | 一般演題 B |
| 16:00～16:50 | 一般演題 C |
| 16:50～16:55 | 第 40 回日本中毒学会総会・学術集会の紹介 |
| 16:55～17:00 | 閉会挨拶
次回世話人挨拶 |

会場（市立東大阪医療センター）のご案内



電車を利用する場合

近鉄奈良線 各駅停車で八戸ノ里駅下車（難波から約 15 分）

八戸ノ里駅から北東に約 1Km（徒歩 15 分）

（タクシー 5 分）

土曜日は、市立東大阪医療センター行のバスは運休しております。ご注意ください。

車を利用する場合

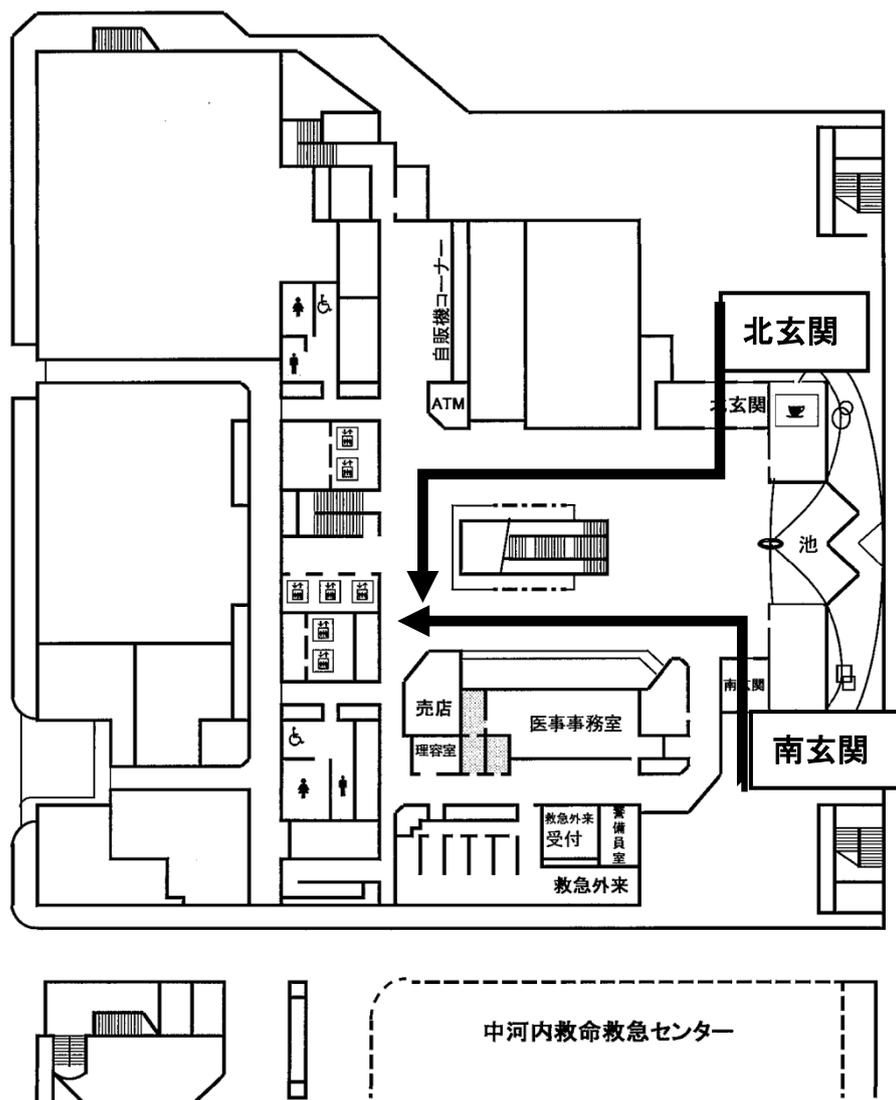
市立東大阪医療センター駐車場をご利用ください。1 時間 100 円。

大阪北部から：近畿自動車道 東大阪北 IC を下りて中央環状線南進

大阪南部から：近畿自動車道 東大阪南 IC を下りて中央環状線北進

市立東大阪医療センター3F 会議室のご案内

北玄関または南玄関からお入りいただき、エレベーターで3階へお越し下さい。



参加者・演者へのご案内

1. 受付は 12 時 30 分より会場前で行います。
2. 当日の参加費として 2000 円を受付でお支払い下さい。
幹事のみ、午前 11 時 30 分より受付しますが、その際、参加費 2000 円と昼食代 1000 円の合計 3000 円を申し受けます。
学生、救急隊員は無料で参加できます。受付でご申告ください。
3. 口演発表は、PowerPoint による発表とします。
フォントは標準のものでお願い致します。Windows 7 ノート PC で PowerPoint 2013 を用意します。
発表受付にて、USB メモリーまたは CD-R で受付を行います。データのファイル名には演題番号と発表者名を明記してください。
口演発表の 30 分前までに発表受付をお済ませください。
4. プレゼンテーションは、演台にセットされているノート PC を使用し、発表者ご自身で操作願います。
5. 一般演題の発表時間は質疑応答も含めて 12 分(発表 7 分+質疑 5 分)です。
時間厳守をお願いします。
6. 質疑・追加発言は、座長の指名を受けられた後、所属・氏名を明らかにしてお願いします。
7. 演題受付時に、日本中毒学会準機関紙「中毒研究」掲載用の抄録原稿を、USB メモリーまたは CD-R (演題番号と発表者名を明記) で提出して下さい。

=====日本中毒学会機関紙「中毒研究」(へるす出版)の抄録記載要領=====

1. 抄録の記述内容は、発表予定内容ではなく、発表内容とします。
2. 記述文字数は、1200 字以内とし、本文以外の演題番号、演題名、・演者名 (共同演者)、所属、文献を含んだ字数です。
3. 論旨上必要である場合のみ、図または表のいずれか 1 点のみ添付できます。
この場合、図表は 400 字に相当するものとし、記述文字数は 800 字までとなります。
4. 本抄録は「中毒研究」誌の Vol. 31, No4 に掲載予定です

=====

※本学会は(財)日本薬剤師研修センターの研修制度に該当します。会場受付で「受講シール」をお渡しいたしますので、薬剤師で必要な方は、お申し出ください。

幹事会の案内

幹事会は、11時50分から、同じく市立東大阪医療センター3F会議室で開催します。11時30分から会議室前で受付をいたします。
昼食を用意しております。

事務局：大阪府立中河内救命救急センター
加藤昇
〒578-0947 東大阪市西岩田 3-4-13
TEL：06-6785-6166
FAX：06-6785-6165
E-mail：tox38@nmcam.jp

プログラム

13:00～13:05 開会挨拶 塩野 茂

13:05～14:05 特別講演

司会 大阪府立中河内救命救急センター 塩野 茂

「中毒を見破る：死亡例からの提案

Find out poisoning: a proposal from autopsy cases」

大阪大学医学部 法医学教授 松本博志

14:05～14:55 一般演題 A

座長 公益財団法人日本中毒情報センター 波多野弥生

A-1 アルコール性消毒液の使用が血中アルコール濃度に及ぼす影響の検討

和歌山県立医科大学 法医学講座

秦聡、山本寛記、石田裕子、野坂みずほ、國中由美、島田栄美、橋爪佑示子、山本彰一、木村章彦、近藤稔和

A-2 急性薬物中毒症例における測定項目検索システムの開発

大阪府立中河内救命救急センター 臨床検査室

黒田舞子、吉田元治、宇都宮康裕、塩野茂

A-3 小児におけるジクロフェナクナトリウム製剤（経口剤、坐剤）による事故の実態調査

1) 公益財団法人日本中毒情報センター

2) 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

3) 森ノ宮医療大学

梶原力¹⁾、柴田実香¹⁾、三瀬雅史¹⁾、波多野弥生¹⁾、遠藤容子¹⁾、高野博徳¹⁾、大西光雄²⁾、吉岡敏治^{1) 3)}

A-4 トライエージ®でAMP 偽陰性となった中毒死の剖検例

- 1) 和歌山県立医科大学 法医学講座
- 2) 金沢大学 医薬保健研究域医学系法医学
山本寛記¹⁾、高安達典²⁾、石田裕子¹⁾、野坂みずほ¹⁾、國中由美¹⁾、島田栄美¹⁾、北村謙伍¹⁾、秦聡¹⁾、橋爪佑示子¹⁾、山本彰一¹⁾、木村章彦¹⁾、近藤稔和¹⁾

14:55～15:10 休憩

15:10～16:00 一般演題 B

座長 大阪府立中河内救命救急センター 奥田和功

B-1 薬剤師による内服向精神薬自己静脈内投与の1症例

医療法人沖繩徳洲会吹田徳洲会病院 薬剤部

高橋雄也、高木明子、森本健幹、永沼智至、芳本尚、田中絵理、田中緑、宮脇洋平、川合沙希、山内あや、長島裕樹

B-2 エスタロンモカ錠の多量服用によるカフェイン中毒死の1剖検例

1) 和歌山県立医科大学 法医学教室

2) 和歌山海上保安部

3) 金沢大学医薬保健研究域医学系法医学

北村謙伍、山本寛記¹⁾、高安 達典³⁾、石田 裕子¹⁾、野坂みずほ¹⁾、國中由美¹⁾、島田栄美¹⁾、山本彰一¹⁾、秦聡¹⁾、橋爪佑示子¹⁾、吉良英良²⁾、尾藤吉将²⁾、木村章彦¹⁾、近藤稔和¹⁾

B-3 三環系抗うつ薬を含む薬物大量服薬による循環抑制に対し脂肪乳剤投与が有効であった一例

1) 大阪警察病院 ER・救命救急科

2) 国立病院機構南和歌山医療センター 薬剤部

3) 大阪警察病院 臨床検査科

松本紗矢香¹⁾、廣瀬智也¹⁾、服部雄司²⁾、指月海地¹⁾、戸上由貴¹⁾、小川新史¹⁾、山田知輝¹⁾、中江晴彦¹⁾、山吉滋³⁾、水島靖明¹⁾

B-4 カルシウム拮抗薬、アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬、β遮断薬過量内服の1例

総合犬山中央病院 循環器内科

石黒宣夫、坪井宏樹、熊崎節央

16:00～16:50 一般演題 C

座長 大阪警察病院 ER・救命救急科 廣瀬智也

C-1 メンターム EX プラス®の誤食により意識障害と呼吸不全を来した1例

1) 大阪警察病院 ER・救命救急科

2) 大阪警察病院 臨床検査科

戸上由貴、廣瀬智也¹⁾、指月海地¹⁾、小川新史¹⁾、山田知輝¹⁾、中江晴彦¹⁾、山吉滋²⁾、水島靖明¹⁾

C-2 メトホルミン大量内服により生じた乳酸アシドーシスに対して血液浄化療法を行った1例

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科

柴田慈、小館旭、占部翔一郎、林元久、吉村旬平、渡邊篤、木下喬弘、中本直樹、松田宏樹、山川一馬、藤見聡

C-3 メトホルミン中毒を否定しきれなかった高乳酸血症を伴う意識障害の1例
岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

柿野圭紀、水谷喜雄、山路文範、岡本遥、吉田省造、熊田恵介、小倉真治

C-4 重篤な乳酸アシドーシスを呈したアクリルアミド経口急性中毒の1救命例

1) 大阪府立中河内救命救急センター

2) 同 臨床検査室

奥田和功¹⁾、吉田元治²⁾、黒田舞子²⁾、宇都宮康裕²⁾、谷川忠義²⁾、船久保岳央¹⁾、田中淳¹⁾、岡田昌浩¹⁾、中川淳一郎¹⁾、日野裕志¹⁾、遠山一成¹⁾、島津和久¹⁾、岸本正文¹⁾、加藤昇¹⁾、塩野茂¹⁾

16:50～16:55 第40回日本中毒学会総会・学術集会の紹介

副会長 遠藤容子（公益財団法人日本中毒情報センター）

16:55～17:00 閉会挨拶 塩野 茂
次回世話人挨拶 竹下 仁（大阪府三島救命救急センター）